

ORBITVU SUN JP



Table of Contents

サブスクリプションプラン	3
概要	4
利用可能なサブスクリプションプラン	5
プランのパラメータ／機能.....	6
購入と延長・拡張.....	9
デバイスとサポートプラン	10
ORBITVUデバイスとサポートプランについて	11
会社アカウントとユーザーアカウント.....	15
概要	16
企業アカウントとユーザーアカウント	17
ユーザーに対する権限の内容	18
ユーザーを会社アカウントへ招待する方法	19
ユーザーパーミッションの変更方法.....	24
ユーザーの無効化と削除方法	26
企業アカウントのプレゼンテーションを管理.....	29
API.....	31
概要	32
バージョン	33
認証	34
データ形式.....	35
API V1 リファレンス	36
プレゼンテーションのリスト	37
プレゼンテーションの詳細.....	42
プレゼンテーションの統計.....	43
アカウントの詳細.....	48
コンタクト	49
パブリッシャー	57

サブスクリプションプラン

概要

サブスクリプションプランでは、ORBITVU SUNを使用することで、2D画像と360°プレゼンテーションを簡単かつ効果的に管理し、公開することができます。ORBITVU SUNは技術者以外のユーザーも考慮して構築されており、退屈で面倒な作業が予め実施済みとなっています。ORBITVU SUNを使用することのメリットについては、以下を参照してください。

- 簡単 - HTML や JavaScript の技術的な詳細に深入りする必要がありません。埋め込みコードをコピー & ペーストするか、提供された公開 (Publish) ボタンを使用するだけです。
- 高速 - ORBITVU SUNは、コンテンツ配信ネットワーク (CDN) を使用して、ユーザーに地理的に近いサーバーを使用して、最も効率的な方法で画像とプレゼンテーションを配信します。
- 安全 - データを心配する必要がありません。データはバックアップされ、複数のサーバーに格納されます。
- 画像や360°プレゼンテーションを中断することなく処理できるように設計されています。何か障害となっても、トラフィックを処理できる別のインスタンスが用意されています。
- 拡張機能 - ORBITVU SUNを使用して、360°プレゼンテーションにホットスポットやラベルを追加できるOrbittoursを作成できます。
- ソーシャルプラットフォーム上に、電子メール、またはeコマースを用いて、制作したコンテンツを簡単に共有する方法を提供します。
- ORBITVU VIEWERの追加ライセンスは不要 - 360°プレゼンテーションは常に最新のバージョンを自動的に使用します。アップデートの確認やサーバーのアップグレードは必要ありません。
- eコマースプラグインは、一部のサポートプランに無料で含まれています
- 統計 - どの360°プレゼンテーションが最も多く閲覧されたか、または最も高いトラフィックだったか等の統計データを確認できます。

利用可能なサブスクリプションプラン

フリー（Free）

フリーサブスクリプションプランは、追加料金なしで誰でも利用できます。Freeでは利用できるストレージと転送に制限があり、ORBITVU VIEWERの無料版（ORBITVUの情報を表示する情報 (Info) ボタンが常に有効になっていることを意味します）を使用しています。

フリーサブスクリプションプランは、3ヶ月ごとに更新（更新は無料です）する必要があります（サポートプラン、ORBITVU Viewer、またはeコマースプラグインを購入しているORBITVUのクライアントの場合は、無期限で利用できるため、プランを更新する必要はありません）。

マーケティング と eコマース xG プラン

ストレージ、転送制限、およびその他の機能が異なる通常のサブスクリプションプラン

カスタム（CUSTOM）

カスタムプランは、通常のサブスクリプションプランで利用可能なデータをさらに格納する必要のあるクライアントを対象としています。価格はお問い合わせ頂いたときに、ご要件に応じて個別に計算されます。

プランのパラメータ／機能

各サブスクリプションプランは一連のパラメータで記述されます。以下に各パラメータ／機能の詳細を説明します。

ストレージ

ORBITVU SUNアカウントに保存できる最大データ量。360°プレゼンテーションと2D画像によってストレージが消費されます。利用可能なストレージサイズはサブスクリプションプラン毎に異なります。

サブスクリプションプラン毎に追加ストレージを購入することは可能ですが、全体のストレージサイズは、より高いサブスクリプションプランで利用可能なストレージサイズよりも少なくなります。

i ストレージの上限に達すると、新しいプレゼンテーションをアカウントにアップロードすることはできません。ストレージを追加購入するか、より高いサブスクリプションプランに切り替えることを検討してください。

💡 透過性が本当に必要な場合を除き、360°プレゼンテーションにはPNGフォーマットを使用しないでください。PNGファイルは、JPGファイルよりもはるかに多くの領域を消費します。

データ転送

SUNアカウントの最大利用可能月間データ転送量。各サブスクリプションプラン毎に異なる転送量の上限値が決められています。

データ転送とは、SUNサーバーからクライアント（SUNサーバーの画像またはプレゼンテーションが埋め込まれているWebサイトを閲覧しているユーザー）に転送されるデータ量です。

例 1 - ORBITVU SUN上で管理されている2D画像の閲覧

SUNサーバから閲覧者のWebブラウザに2D画像を転送（ロード）する必要があります。転送サイズは、転送される画像のサイズと同じになります。（ここでは、追加の圧縮が適用される可能性は考慮していません）

例 2- 360° プレゼンテーションの閲覧

360°プレゼンテーションを構成している画像は、クライアントのWebブラウザに転送されます。転送サイズは、通常、360°プレゼンテーションの合計サイズよりもはるかに小さくなります。これは、プレゼンテーションを閲覧しているときに（要求された解像度や閲覧角度などに依存して）、すべてのプレゼンテーション画像が使用されるわけではないためです。

i アカウントの毎月の転送量上限に達しても、何も中断することなくプレゼンテーションが表示されます。

ORBITVU SUNは超過した転送量に関する情報を保存し、次の月に継続的に超過した場合、または超過した転送量がかなり多い場合に、ORBITVUは問題を解決するためにアカウントの所有者に連絡させていただきます。対処例：より高いサブスクリプションプランに切り替える。

eコマースプラグイン

サブスクリプションプランによっては、ORBITVUによって開発されたeコマースプラグイン機能へのフリーアクセスが可能です。フリーアクセスにより、SUNベースのプラグイン（MagentoやPresta Shopプラグインなど）をダウンロードしてインストールし、ORBITVU SUNでホストされているプレゼンテーションで使用できます。（特段の記載がなければ追加の費用が不要です）

💡 無料のSUNベースのプラグインを使用している場合は、クライアントは常にプラグインの最新リリースにフリーでアクセスできます。

統計

閲覧および転送の統計データへのアクセスは、すべてのサブスクリプションプランに含まれています。特定のプレゼンテーションの表示回数（閲覧数）とデータ転送サイズに関する詳細情報を確認することができます。

Orbittour

すべてのサブスクリプションプランで、ホットスポット、ビュー、ツールチップなどの追加機能を使用して360°プレゼンテーションを拡張できるOrbittourにアクセスできます。

CDN (コンテンツ配信ネットワーク)

CDNとは、待ち時間の短い迅速なデータ転送を実現するために、ユーザの地理的位置に基づいて画像（およびその他のWebコンテンツ）をユーザに配信するシステムです。

SUNサーバーは CDNを利用しているため、画像や360°プレゼンテーションを閲覧する人の地域（ヨーロッパ、アジア、北米など）は問題になりません。画像は、閲覧する人の近くにあるサーバーから配信されます。

カスタムドメイン

eコマース 6Gプランからは、クライアントがORBITVU SUNに独自のドメインを割り当てることができる特別なオプションを購入することが可能です。

カスタムドメインがORBITVU SUNにバインドされると、SUNサーバーによって生成された埋め込みリンクはこのドメインを使用するようになります。また、360°プレゼンテーションビューでSUNサーバーのブランドを変更し(例：<https://orbitvu.co/001/Ck4P7e4rWtKiMb79DUjWqm/ov3601/3/view>)、ORBITVU SUN の代わりにカスタム名を使用することもできます。

カスタムドメイン機能には追加料金がかかり、その価格には初回のセットアップ費用と年間費用が含まれます。

購入と延長・拡張

サブスクリプションプランはORBITVU SUNで直接購入して延長・拡張することができます。

期限切れの通知

サブスクリプションプランが期限切れになる1ヶ月前に、クライアントに電子メール通知を送信し始めます。その後の通知は、サブスクリプションプランの有効期限までに15、7、3、および1日前に送信されます。

期間の延長

クライアントはプラン有効期間の最後の1ヶ月間にサブスクリプションプランを延長することができます。プランは（現在有効なプランの最終日から数えて）1年間延長されます。

より高いサブスクリプションプランへの切り替え

いつでも、より高いサブスクリプションプランに切り替えることができます。プランの基本料金は、現在のサブスクリプションプランに残っている未使用日数に基づいて割引されます。

有効期限

サブスクリプションプランが期限切れになると、アカウント上のすべてのプレゼンテーションが期限切れの状態に切り替わります。期限切れのプレゼンテーションは公開されなくなります（埋め込みコードは機能しません）。ただし、アカウント所有者は、（プレゼンテーションリストの[期限切れ]タブ内で）14日間利用可能です。

サブスクリプションプランの満了後14日以内に、クライアントはプレゼンテーションをダウンロードしたり、サブスクリプションプランを再度購入することができます。後者の場合、期限切れのプレゼンテーションは、プランが延長されるとすぐに自動的に再び利用可能な状態になります。

デバイスとサポートプラン

ORBITVUデバイスとサポートプランについて

ORBITVUデバイスとそのサポートプランは、ORBITVU SUN の マイプロダクト(My Products)メニューにあります。これらは、アカウントに少なくとも1つの ORBITVUデバイスが割り当てられている場合にのみ表示されます。

ORBITVU デバイス

購入済のすべてのデバイス、例えば、お客様が所有しているALPHASHOT MicroまたはALPHASHOT360は、ORBITVU SUNに登録されており、マイプロダクト ページのORBITVUデバイスのエントリとして確認することができます。

ORBITVU デバイスは、その名前とシリアル番号で識別することができます。





ORBITVU デバイスの登録

いくつかのケースで、例えば、お使いのデバイスが古い場合、そのタイプとシリアル番号に関する情報がORBITVU SUNで利用できない場合があります。デバイスが不明であることを示す情報が表示された場合は、ORBITVUに登録のリクエストを送信できます。

Devices & Support Plans

List of your Orbitvu devices and Support Plans*

* Support Plan includes access to EDITOR's and VIEWER My360's updates, technical support, consultancy services.

Device	Serial number	Download software
ORBITVU MAXI 3D	1234567890	
ORBITVU MINI	345678	ORBITVU EDITOR Professional 
ALPHASHOT 360	324234234234234	ALPHASHOT EDITOR Professional 
-- unknown device -- Register your device 	-	ALPHASHOT EDITOR Professional 

以下のような登録フォームに記入する必要があります。


Register Orbitvu device

Please, provide us your Orbitvu device name and serial no. It can be found on identification label at the back of the unit.

Orbitvu device *

Device serial number

Serial number can be found on identification label at the back of the unit



Additional message

- !** デバイスのシリアル番号は、ORBITVUデバイスの背面にある識別ラベルに記載されている番号です。ソフトウェアのシリアル番号やお使いのコンピュータのシリアル番号ではありません。

サポートプラン

各ORBITVUデバイスには、以下のサポートプランが割り当てられています。

- 1年間有効（延長可）
- EDITORソフトウェアの更新
EDITORソフトウェアの最新バージョンをダウンロードできます。
- ORBITVU Viewer My360 の更新
Viewer My360の最新バージョンにアクセスできます。
- 技術サポート
- コンサルティングサービス
- 1つのデバイスに適用されます（各デバイスには個別のサポートプランがあります）

i サポートプランが期限切れになってもソフトウェアのダウンロードは可能ですが、ソフトウェアの最新バージョンは、サポートプランが期限切れになる前にリリースされたものです。

i 複数のORBITVUデバイスを使用している場合、ORBITVU Viewer My360ライセンスは最も有効期間の長いサポートプランに割り当てられます。

サポートプランの延長

サポートプランはいつでも延長できますが、有効期限が切れる前に延長すると割引が適用されます（サポートプランがSUNで購入された場合は自動的に適用されます）。

保証の延長

ORBITVUデバイスの延長保証期間は最長2年間です。デバイス保証がまだ期限切れになっていない場合に限り、延長保証を購入することができます。


! 保証期間の合計は3年間です。これは、1年間の正規保証期間と2年間の延長保証期間を意味します。

ソフトウェアのダウンロードと登録

各ORBITVUデバイスにはソフトウェアが割り当てられています。例えば、このデバイスで使用できるALPHASHOT Editor。それを使用するには、ソフトウェアをダウンロードし、会社名、電子メール、シリアル番号などの登録情報を提供する必要があります。これらのデータはORBITVU SUNにあります。まず以下のようにダウンロードリンクをクリックします。

ALPHASHOT XXL

ORBITVU EDITOR Standard 

2019-01-04 

2017-04-06 

その後、リリースノート、ダウンロードリンク、バージョン履歴、および登録情報を含むダウンロードページが表示されます。

ORBITVU EDITOR Standard

Version: 3.8.1

Version 3.9.2 is out! [Click to purchase Support Plan and get the upgrade](#)

Release notes:

- Support for EOS 7D MK II, EOS 5DS and 5DSR, EOS 750D cameras
- Possibility to see image pixel value in CMYK or HSV color space
- XML export options file more possibilities - more options for giving name, indicating file destination etc.
- New ORBITVU VIEWER 3.0.7
- New ORBITVU presentation options: displaying in html5 or flash mode in local browser, max. zoom for presentation, OR
- Changing name for several selected images in 2D sequence
- Recording and editing videos
- Importing and exporting videos
- Image details information in Preview window
- Modifying names and settings of templates
- Bug fixes and Improvements

Please provide following registration information during ORBITVU EDITOR Standard installation:

E-mail address:	<input type="text"/>	
Company:	<input type="text"/>	
Serial code:	<input type="text"/>	

[Download MacOS version](#)

[Download Windows version](#)

Device manuals

- Visit ORBITVU support site to view [device manuals](#)

会社アカウントとユーザーアカウント

概要

ORBITVU SUNは、一つの企業アカウント内の特定の会社のユーザーをグループ化します。これにより、ユーザーは同じ商品セットとORBITVUプレゼンテーションで共同作業することができます。

企業アカウントで以下の機能を利用できます：

- 他のユーザーのORBITVU プレゼンテーションの [閲覧と修正](#)
- 企業アカウントに割り当てられた商品へのアクセス
- 企業アカウントユーザーの [追加](#), [無効化](#), [削除](#)
- プレゼンテーション所有者別の統計情報のアクセス
- ユーザー（Admin, Manager, Editor）毎に異なる [アクセス権限](#) を付与

Demo Company users

list of company users and invitations + Invite a user

[company+admin@orbitvu.com](#) (You)
John Admin - **Admin**
🔒 1 📁 69.8 MB

[company+editor@orbitvu.com](#)
John Editor - **Editor** Edit | Deactivate
🔒 1 📁 13.2 MB

[company+manager@orbitvu.com](#)
John Manager - **Manager** Edit | Deactivate
🔒 0 📁 0 bytes

[company+other@orbitvu.com](#)
pending invitation - **Editor** Resend | Revoke

企業アカウントとユーザーアカウント

企業アカウントには、会社の名前と請求書データに関する情報が保存されています。ORBITVUサービス（サブスクリプションプランなど）と製品（ORBITVU VIEWERライセンスなど）は、ユーザーアカウントではなく企業アカウントに割り当てられます。

各企業アカウントには、個々のユーザーを表し、ユーザー名とパスワードで識別される複数のユーザーアカウントを割り当てることができます。

各ユーザーアカウントには、企業アカウント内のユーザーに与えられた一連の [アクセス権限](#) を定義する役割が与えられます。

特定の企業アカウントにバインドされたユーザーは、（役割に応じて）（同じ会社の）他のユーザーのプレゼンテーションを表示したり、ORBITTOURテンプレートとプレゼンテーションタグを共有できます。

ユーザーに対する権限の内容

会社内の各ユーザーアカウントは、このユーザーアカウントのアクセス許可を決定するユーザーグループに追加されます。

ユーザーグループ：

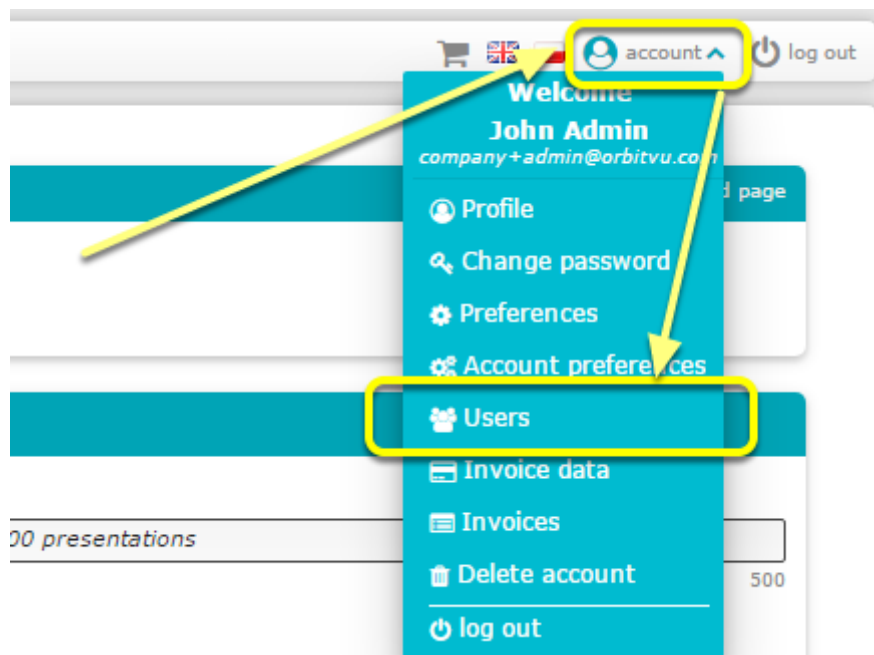
- Admin
 - 企業アカウント内のユーザーを管理
 - 製品やサービス（サブスクリプション、eコマースプラグインなど）の購入
 - 製品ライセンスのアクセスとダウンロード (ORBITVU VIEWER のダウンロードなど)
 - 請求書の閲覧
 - 会社内のすべてのユーザーのプレゼンテーションを管理
 - すべてのプレゼンテーションとユーザーの統計情報を閲覧 (現在のサブスクリプションプランで利用可能な場合)
 - すべてのユーザーのタグとORBITTOUR テンプレートのアクセス
 - ドキュメントのアクセス
- Manager
 - 会社内のすべてのユーザーのプレゼンテーションを管理
 - すべてのプレゼンテーションとユーザーの統計情報を閲覧 (現在のサブスクリプションプランで利用可能な場合)
 - 製品ライセンスのアクセスとダウンロード (ORBITVU VIEWER のダウンロードなど)
 - すべてのユーザーのタグとORBITTOUR テンプレートのアクセス
 - ドキュメントのアクセス
- Editor
 - 所有するプレゼンテーションのみアクセス (他のユーザーのプレゼンテーションは閲覧できません)
 - ドキュメントのアクセス
 - 所有するタグとORBITTOUR テンプレートのみアクセス

ユーザーを会社アカウントへ招待する方法

企業アカウントに新しいユーザーを追加するには、[Admin権限](#)を持つユーザーとしてログインする必要があります。その後、申請者に招待状を送付し、申請者が電子メールの登録リンクを使用して、ORBITVU SUNで登録処理を完了するとすぐに、新しいユーザーアカウントが企業アカウントに追加されます。

詳細は以下を参照ください。

- Users 管理ページに移動



- Invite a user ボタンをクリック

ORBITVU Dashboard Presentations My products Statistics account

Profile Change password Preferences Account preferences Users Invoice data
Invoices Delete account

Demo Company users

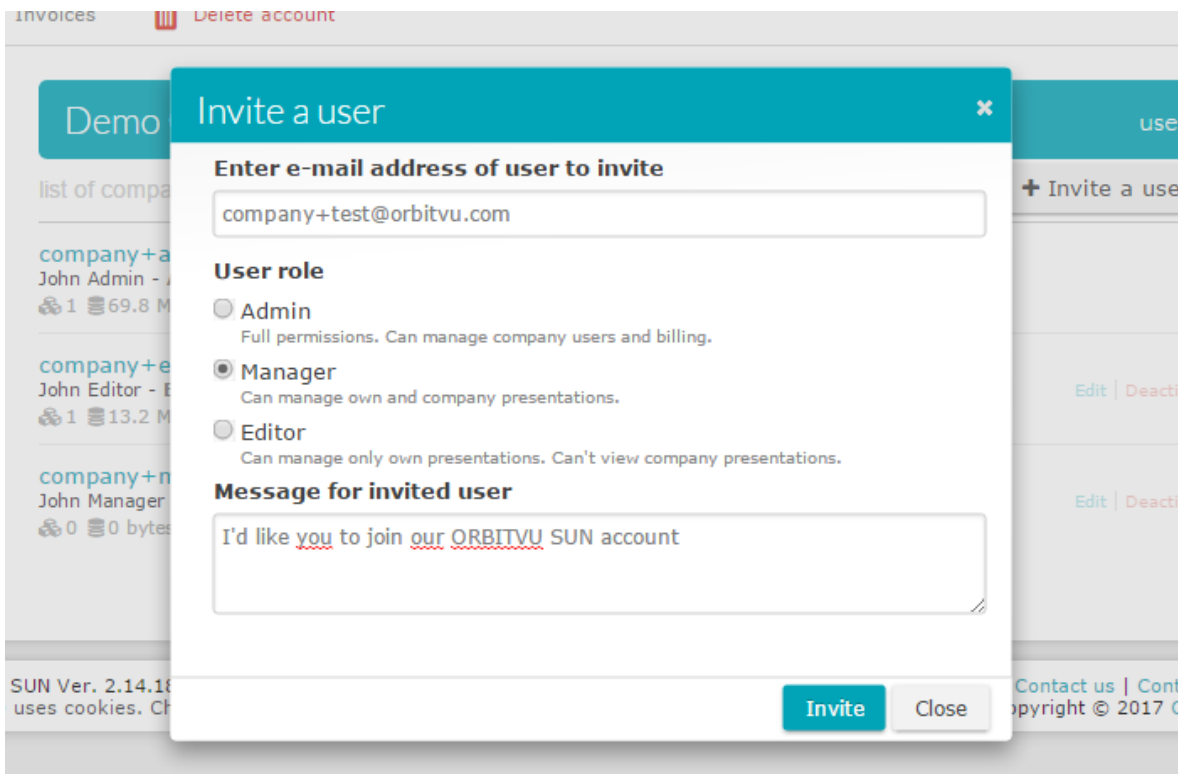
list of company users and invitations

+ Invite a user

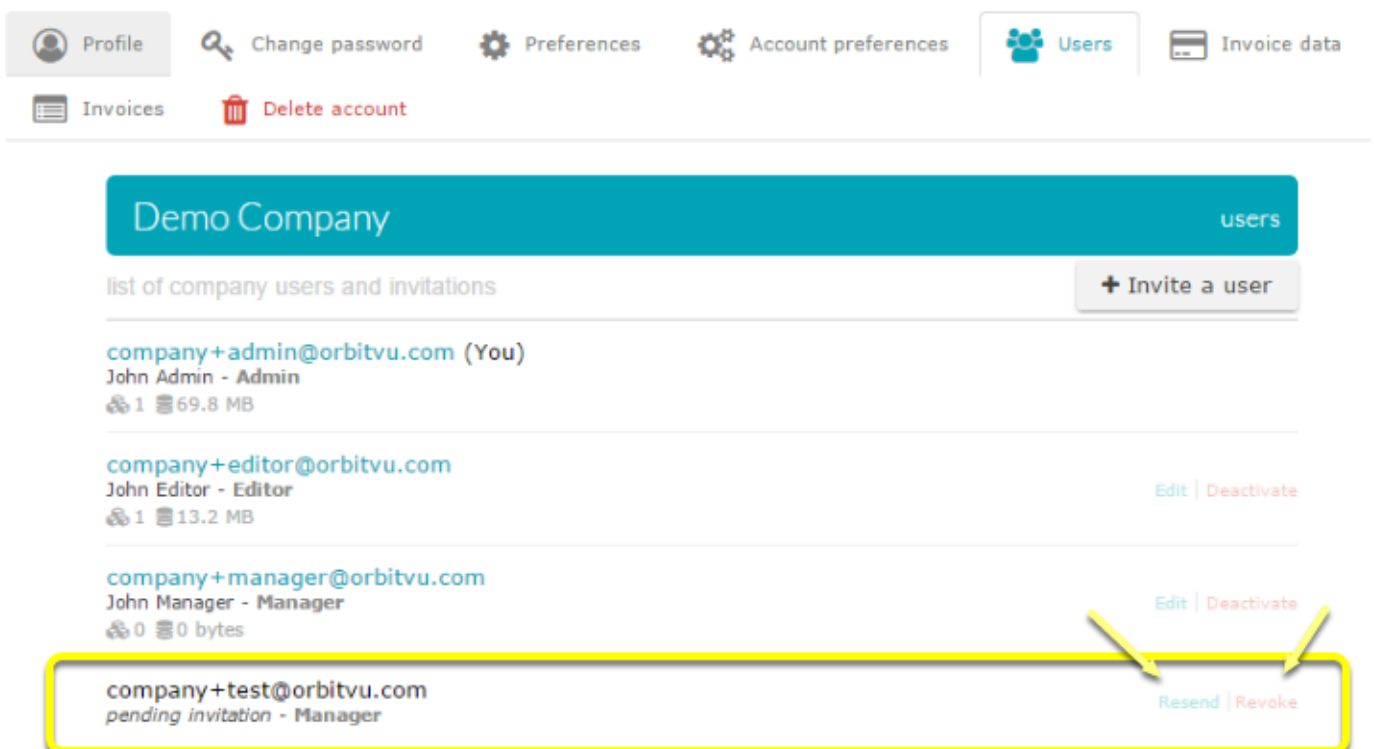
company+admin@orbitvu.com (You) John Admin - Admin 1 69.8 MB	
company+editor@orbitvu.com John Editor - Editor 1 13.2 MB	Edit Deactivate
company+manager@orbitvu.com John Manager - Manager 0 0 bytes	Edit Deactivate

- 招待する人のEメールアドレスを入力してから、権限グループを選択し、招待する内容の短いメッセージを書き込みます。アクセス許可の詳細については、[コチラ](#)をご覧ください。

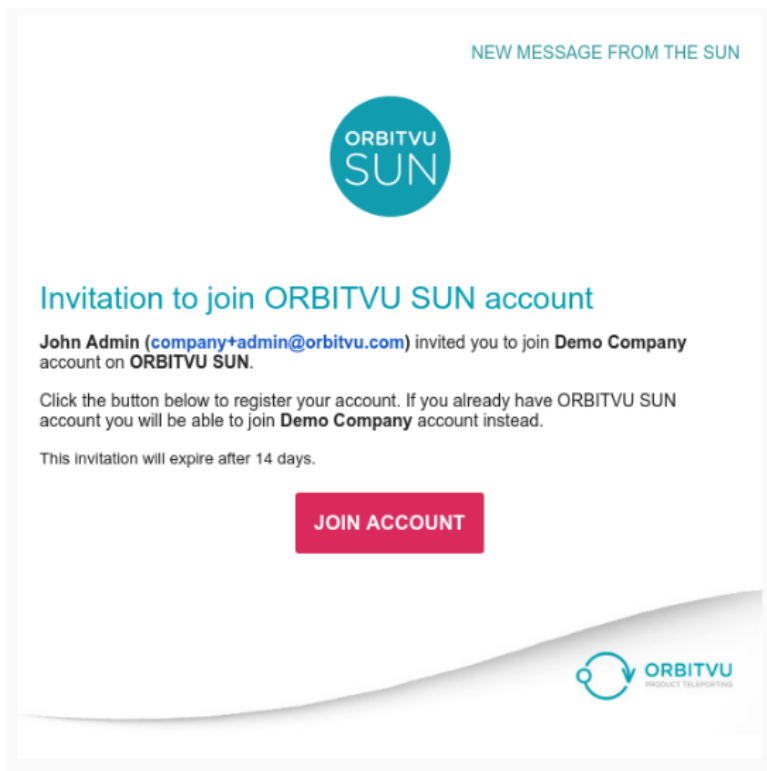
i 招待された人が既に ORBITVU SUNのユーザーであっても、指定した企業アカウントに招待することができます。このようなケースでは、ユーザーは、現在の企業アカウントから新しい企業アカウントに移動されます。



- 招待状を送信するとすぐに、招待された人の電子メールアドレスが保留中に表示され、招待状を再送したり、招待状を完全に削除したりすることができます。



- 招待された人は、確認リンク付きの電子メールを受信します：



- 招待状のリンクをクリックすると、登録フォーム（ORBITVU SUNの新規ユーザーの場合）または参加企業アカウントフォーム（別のアカウントのORBITVU SUNユーザーの場合）が表示されます。

新規 ORBITVU SUN ユーザーの場合：

ORBITVU Log in

Accept invitation join **Demo Company** account

You've been invited to join **Demo Company** account.
Invitation was sent by John Admin (company+admin@orbitvu.com).

Company *	Demo Company
E-mail address *	company+test@orbitvu.com
Country *	United Kingdom
First name *	<input type="text"/>
Last name *	<input type="text"/>
Password *	<input type="password"/>
Confirm password *	<input type="password"/>

Accept terms and conditions *
[Download terms and conditions](#)

Send me newsletter
You can unsubscribe at any time

Accept invitation

既存の ORBITVU SUN ユーザーの場合：

Accept invitation join Demo Company account

You've been invited to join Demo Company account.
Invitation was sent by John Admin (company+admin@orbitvu.com).

As soon as you accept the invitation you'll be moved to new account:

- all presentations you own **will be moved to new account**
- all product licenses from current Company account **will not be accessible** anymore (e.g. ORBITVU EDITOR, ORBITVU VIEWER), but you'll have access to licenses from **Demo Company** account
- you **will be switched** to ORBITVU SUN subscription assigned to **Demo Company** account
- [contact us](#) if in doubt

Accept invitation Not now

- 登録（または、参加）が正常に完了すると、新しいユーザーアカウントが会社アカウントに追加されます。

Demo Company users

list of company users and invitations + Invite a user

company+admin@orbitvu.com (You)
John Admin - Admin
🔒 1 📄 69.8 MB

company+editor@orbitvu.com
John Editor - Editor Edit | Deactivate
🔒 1 📄 13.2 MB

company+manager@orbitvu.com
John Manager - Manager Edit | Deactivate
🔒 0 📄 0 bytes

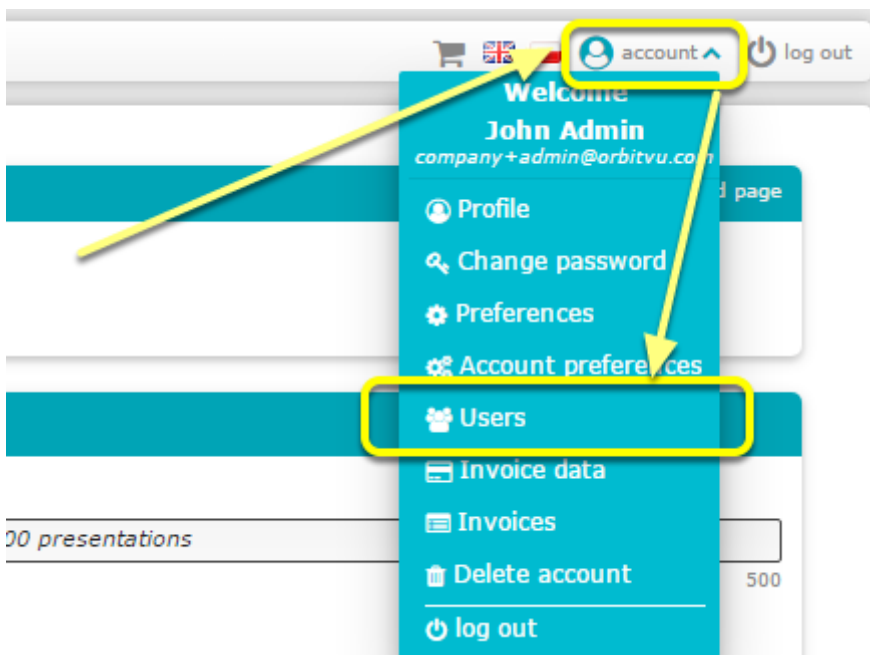
company+test@orbitvu.com Edit | Deactivate
John Invited - Manager
🔒 0 📄 0 bytes

ユーザーパーミッションの変更方法

ユーザーの権限を変更するには、[Admin権限](#)を持つユーザーとしてログインする必要があります。
その後、特定のユーザーの権限を変更することができます。

以下で手順を説明します。

- Users 管理ページに移動



- Edit リンクをクリック

The screenshot shows the ORBITVU user management interface. At the top, there is a navigation bar with 'Dashboard', 'Presentations', 'My products', and 'Statistics'. Below this is a secondary navigation bar with 'Profile', 'Change password', 'Preferences', 'Account preferences', 'Users', and 'Invoice data'. The main content area is titled 'Demo Company' and shows a list of company users and invitations. The list includes three users: 'company+admin@orbitvu.com (You)' (John Admin - Admin, 69.8 MB), 'company+editor@orbitvu.com' (John Editor - Editor, 13.2 MB), and 'company+manager@orbitvu.com' (John Manager - Manager, 0 bytes). The 'Edit' button for the John Editor user is highlighted with a yellow box.

- ユーザーの新しいアクセス権限セットを選択し、変更を確認します。

⚠ 企業アカウントに Admin権限を持つユーザーが少なくとも 1 人必要です。

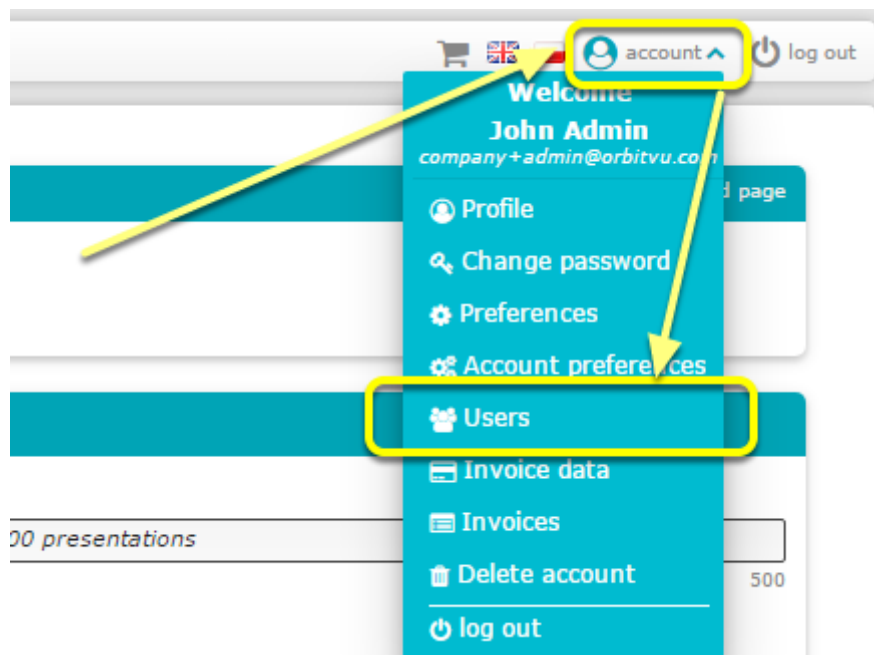
The screenshot shows the 'Edit user' dialog box overlaid on the user management interface. The dialog box is titled 'Edit user' and shows the user 'John Editor'. Under the 'User role' section, there are three radio button options: 'Admin' (Full permissions. Can manage company users and billing.), 'Manager' (Can manage own and company presentations.), and 'Editor' (Can manage only own presentations. Can't view company presentations.). The 'Editor' option is selected. At the bottom of the dialog box, there are 'Change' and 'Close' buttons.

ユーザーの無効化と削除方法

ユーザーを削除するには、[Admin権限](#)を持つユーザーとしてログインする必要があります。その後、特定のユーザーを無効(deactivate)にして削除(remove)することができます。

以下で手順を説明します。

- Users 管理ページに移動



- Deactivate リンクをクリック

i 無効にされたユーザーはログインできなくなりますが、アカウントはまだ存在し、ユーザーが所有しているプレゼンテーションは削除されません。

Demo Company

users

list of company users and invitations

+ Invite a user

[company+admin@orbitvu.com](#) (You)

John Admin - Admin

👤 1 📄 69.8 MB

[company+editor@orbitvu.com](#)

John Editor - Editor

👤 1 📄 13.2 MB

[Edit](#) | [Deactivate](#)

[company+manager@orbitvu.com](#)

John Manager - Manager

👤 0 📄 0 bytes

[Edit](#) | [Deactivate](#)

[company+test@orbitvu.com](#)

John Invited - Manager

👤 0 📄 0 bytes

[Edit](#) | [Deactivate](#)

- 無効にしたユーザーアカウントに対しては、再度有効にするか完全に削除することができます。

 企業アカウントに Admin権限を持つユーザーが少なくとも 1 人必要です。

Demo Company

users

list of company users and invitations

+ Invite a user

[company+admin@orbitvu.com](#) (You)

John Admin - Admin

👤 1 📄 69.8 MB

[company+editor@orbitvu.com](#)

John Editor - Editor

👤 1 📄 13.2 MB

[Edit](#) | [Deactivate](#)

[company+manager@orbitvu.com](#)

John Manager - Manager

👤 0 📄 0 bytes

[Edit](#) | [Deactivate](#)

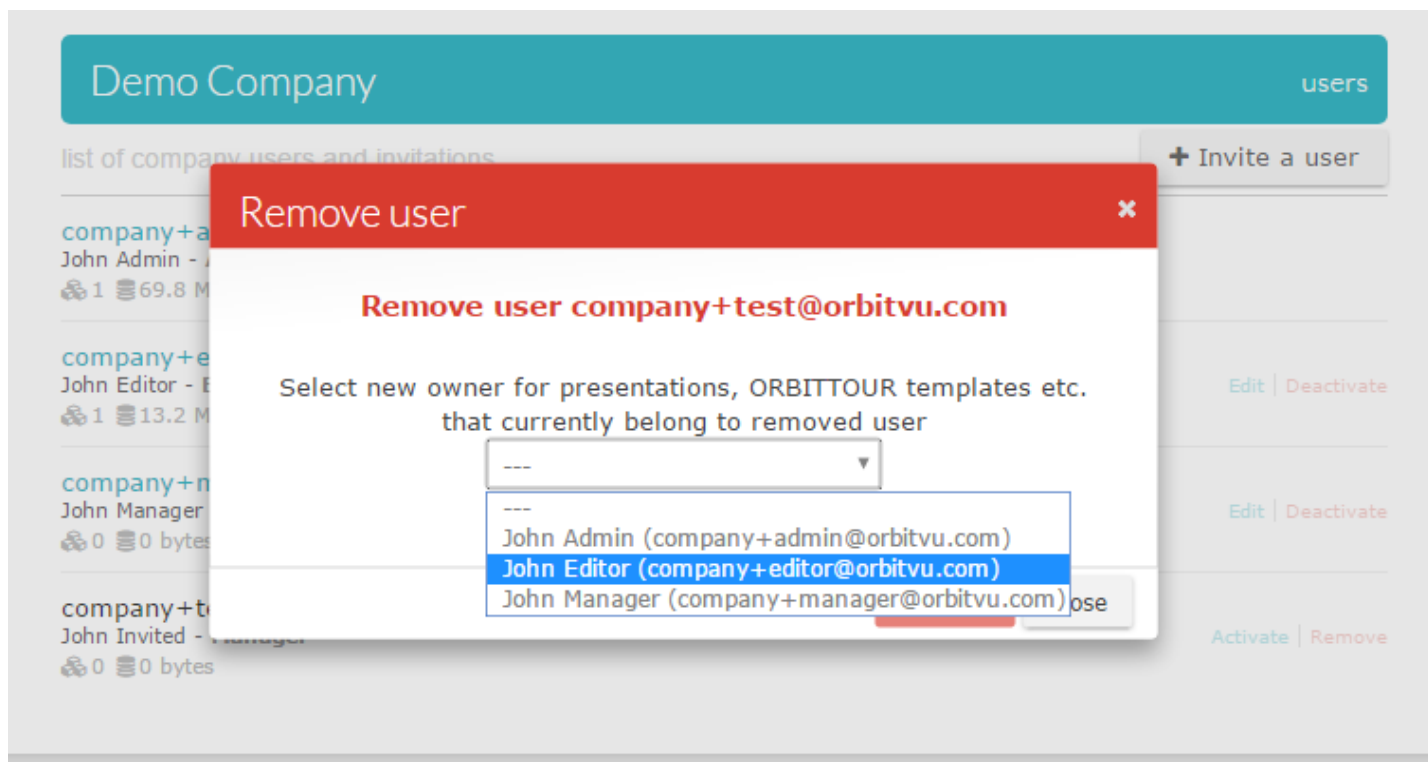
[company+test@orbitvu.com](#)

John Invited - Manager

👤 0 📄 0 bytes

[Activate](#) | [Remove](#)

ユーザーを削除することを選択した場合、削除されるユーザーのプレゼンテーションとその他のコンテンツ（たとえば、タグまたはORBITTOURテンプレート）の新しい所有者を選択する必要があります。



ユーザーアカウントが削除され、このユーザーのすべてのコンテンツが新しい所有者に移動されます。

企業アカウントのプレゼンテーションを管理

企業アカウント内に複数のユーザーがいる場合、ユーザーは権限次第で、会社内の他のユーザーが所有するプレゼンテーションを表示したり編集することができます。

i AdminとManagerの役割を持つユーザーだけが、他のユーザーのプレゼンテーションを表示および管理できます。

プレゼンテーション一覧には、所有者がプレゼンテーションを閲覧したり、所有者を変更したりするのに便利なオプションがいくつかあります。

The screenshot shows the Orbitvu interface for managing presentations. At the top, there are tabs for 'Index', 'Downloads', and 'Public catalog'. Below the tabs, there are 'View options' (grid, list, table, 10 items) and 'Group actions' (New presentation: OVUS, Images; Edit, Delete, Transfer, Owner, Excel, E-mail, Download, Publish). The 'Owner' icon is highlighted with a yellow box. A search bar contains 'Enter text to filter' and a dropdown menu shows '-- whole company --'. Below the search bar is a 'Filter by tags' input field. The main content is a table of presentations:

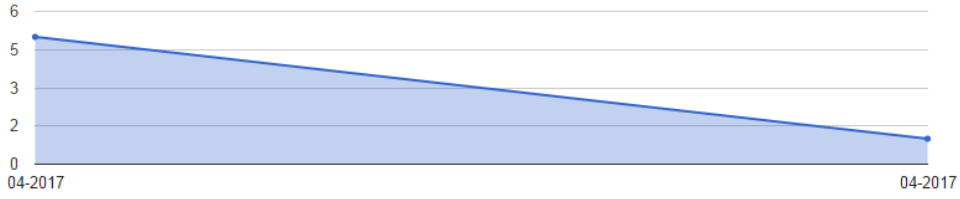
<input type="checkbox"/>	◇ Name	◇ Category 1	◇ Category 2	◇ Author	◇ Owner	◇ Creation date
<input type="checkbox"/>	Shoes			John Editor	company+editor@orbitvu.com	2017-04-06 09:21
<input type="checkbox"/>	Locker	furniture		John Admin	company+admin@orbitvu.com	2017-04-06 08:56

At the bottom, there are navigation arrows and a page indicator '1'. The text 'Showing 1 to 2 of 2 entries' is visible at the bottom right.

プレゼンテーションの所有者に関する情報は、統計パネル内でも利用できます。

Global statistics

Users: --whole company-- Period: since year ago Refresh



Totals whole period

Total views: 6

Top presentations:

5	C7oahN3GcKDhwvDb9zf5mR
1	ZsdcyMQdfAVZtd6X6p7o5g

Views by presentation owners:

5	John Editor (company+editor@orbitvu.com)
1	John Admin (company+admin@orbitvu.com)

API

概要

ORBITVU SUNは、アカウントへのAPI（Application Programming Interface）アクセスを提供します。APIは、一般的に言えば、さまざまなソフトウェアコンポーネント間で明確に定義された一連の通信方法です。*

APIは <https://orbitvu.co/api/> で閲覧・入手できます。

利用可能なAPIの詳細は [API Reference](#) を参照してください。

* [Wikipedia](#) での定義

バージョン

APIは下位互換となるよう管理されています。APIのバージョンはURLによって決定されます。例：

```
https://orbitvu.co/api/v1/presentations
```

デフォルトで、バージョン識別子を持たない下位互換性のあるURLについてはAPIバージョン1にマッピングされるため、このURLは上記と同じです：

```
https://orbitvu.co/api/presentations
```

現在、次のAPIバージョンがあります。

- V1 - APIの最初のバージョン。 [full reference](#)を参照してください。

認証

APIアクセスのためには、ORBITVU SUNで生成できる汎用タイプのトークンが必要です: My products -> [API keys](#)

トークンを使用してトークンを使用すると、以下の値を持つ Authorization HTTPヘッダーを渡すAPIへのアクセス権を得ることができます：

```
token <TOKEN>
```

e.g.:


```
Authorization: token d0ba713e5e34b3d6b2f4a1002f123a3e58c4d7bc
```

 APIにアクセスするには、常にhttpsを使用する必要があります。

 Authorizationヘッダーの値には、単語 token の後にトークン値を続けて指定する必要があります。単語 token が省略されても機能しません。

Python [requests](#) ライブラリーを使用した例：

```
>>> import requests
>>> r = requests.get('https://orbitvu.co/api/v1/.json', headers={'Authorization':
'token d0ba713e5e34b3d6b2f4a1002f123a3e58c4d7bc'})
>>> r.json()
{'presentations': u'https://orbitvu.co/api/v1/presentations.json'}
```

 上記の例で使用されているトークンは、あくまで説明のためのダミーに過ぎず、ORBITVU SUNアカウントへのアクセスはできません。代わりに独自のトークンを使用してください。

データ形式

APIはJSONまたはXMLデータ形式を使用できます。 .jsonまたは.xmlをURLに追加するどちらかのフォーマットを選択できます。例：

<https://orbitvu.co/api/v1/.json>

<https://orbitvu.co/api/v1/.xml>

API V1 リファレンス

プレゼンテーションのリスト

URL: <https://orbitvu.co/api/v1/presentations> [.json|.xml]

返されるデータ

このエンドポイントによって返されるデータは、改ページされたプレゼンテーションのリストとその内容です。例：

```
{
  "count": 1,
  "next": null,
  "previous": null,
  "per_page": 50,
  "results": [
    {
      "id": 46,
      "uid": "5Etsw445fEtdGYpKLnTp5b",
      "name": "Some presentation",
      "sku": "1234",
      "category_1": "",
      "category_2": "",
      "create_date": "2013-02-15T09:45:00",
      "ovus_number": "025",
      "presentation_size": 11066632,
      "has_orbittour": true,
      "tags": [],
      "url": "https://orbitvu.co/api/presentations/46",
      "edit_url": "https://orbitvu.co/001/5Etsw445fEtdGYpKLnTp5b/",
      "thumbnail_url": "//orbitvu.co/001/5Etsw445fEtdGYpKLnTp5b/iproc/img01.png",
      "statistics_url": "https://orbitvu.co/api/v1/presentations/46/statistics",
      "orbittour_set": [
        {
          "id": 1,
          "script_url": "//orbitvu.co/001/5Etsw445fEtdGYpKLnTp5b/2/orbittour/1/script",
          "view_url": "//orbitvu.co/001/5Etsw445fEtdGYpKLnTp5b/2/orbittour/1/view"
        }
      ],
      "presentationcontent_set": [
        {
          "id": 117,
          "name": "ov3601",
          "type": 1,
          "type_display": "ORBITVU 360",

```

```

        "ovus_folder": "https://orbitvu.co/025/5Etsw445fEtdGYpKLnTp5b/
ov3601/",
        "thumbnail_url": "//orbitvu.co/001/5Etsw445fEtdGYpKLnTp5b/iproc/
img01.png",
        "script_url": "//orbitvu.co/001/5Etsw445fEtdGYpKLnTp5b/ov3601/3/
script",
        "view_url": "//orbitvu.co/001/5Etsw445fEtdGYpKLnTp5b/ov3601/3/view",
        "max_width": 4272,
        "max_height": 2848,
        "content2_xml": true
    },
    {
        "id": 119,
        "name": "img_1.jpg",
        "type": 3,
        "type_display": "image2d",
        "ovus_folder": "",
        "thumbnail_url": "//orbitvu.co/001/5Etsw445fEtdGYpKLnTp5b/iproc/2d/
119/img01.png",
        "script_url": "",
        "view_url": "//orbitvu.co/001/5Etsw445fEtdGYpKLnTp5b/iproc/2d/119/
img01.png",
        "max_width": 0,
        "max_height": 0,
        "content2_xml": ""
    },
    {
        "id": 120,
        "name": "img_2.jpg",
        "type": 3,
        "type_display": "image2d",
        "ovus_folder": "",
        "thumbnail_url": "//orbitvu.co/001/5Etsw445fEtdGYpKLnTp5b/iproc/2d/
120/img01.png",
        "script_url": "",
        "view_url": "//orbitvu.co/001/5Etsw445fEtdGYpKLnTp5b/iproc/2d/120/
img01.png",
        "max_width": 0,
        "max_height": 0,
        "content2_xml": ""
    }
]
}
]
}

```

データに関連するページネーション：

- count - 結果の数
- next - 結果の次のページへのURL (次のページがない場合はnull)
- previous - 結果の前のページへのURL (前のページがない場合はnull)
- per_page - ページあたりの結果の数 (page_size URLパラメータで設定可能)
- results - 結果のリスト (プレゼンテーションオブジェクト)

結果データの詳細：

- id - 一意のプレゼンテーションID (数字)
- uid - 一意のプレゼンテーションID (URLで使用される)
- name, SKU, category_1, category_2 - プレゼンテーションの詳細
- create_date - プレゼンテーションの作成日付
- ovus_number - 360コンテンツのovus_folderパラメータ内で使用される番号。ovus_folderの自動生成に役立ちます。
- presentation_size - プレゼンテーションのバイトサイズ
- has_orbittour - 当プレゼンテーションにORBITTOURが存在するかどうかを決定するブーリアン値
- tags - プレゼンテーションに付加されたタグのリスト
- url - 当プレゼンテーションオブジェクトの直接URL
- edit_url - ORBITVU SUN プレゼンテーション編集ページのURL
- thumbnail_url - 当プレゼンテーションのサムネイル画像のURL。画像は以下のクエリ文字列パラメータで操作できます：
 - width - 要求された幅
 - height - 要求された高さ
 - max_width - 最大幅 (高さとの割合を維持)
 - max_height - 最大高 (幅との割合を維持)
 - action - クロップ (特定のサイズで画像をクロップ)、補正 (白背景を補正して任意のサイズを得る)
- statistics_url - プレゼンテーション統計のURL
- orbittour_set - プレゼンテーション用に定義された ORBITTOURs (現在は一つのORBITTOURのみ)のリスト
- presentationcontent_set - プレゼンテーションコンテンツのリスト：
 - id - プレゼンテーションコンテンツの一意のID
 - name - コンテンツの名前, 360 コンテンツではov3601、2D 画像コンテンツの場合はファイル名
 - type - type of content: 1 - 360° コンテンツ、2 - 2D 画像
 - type_display - コンテンツタイプの分かり易い説明
 - ovus_folder - 360°プレゼンテーションの ovus_folder URL。2D コンテンツの場合は空
 - thumbnail_url - 2D コンテンツの画像、または、360°コンテンツのサムネイルへのURL。画像はクエリ文字列パラメータに変更できます (上記の説明を参照)
 - script_url - 360° コンテンツのクリプトエンドポイントへのURL
 - view_url - 360° コンテンツのビューエンドポイントへのURL
 - max_width - 360° コンテンツの最大幅
 - max_height - 360° コンテンツの最大高さ
 - content2_xml - 360° コンテンツが content2.xml ファイルを使用するかどうかを決定するブーリアン値

検索 (Searching)

- exact

特定のフィールドと完全一致によるプレゼンテーションの検索: id, sku, name, uid, tags, 例:

```
# match presentation with sku == 1234
https://orbitvu.co/api/v1/presentations.json?sku=1234

# match presentation with tag shoes
https://orbitvu.co/api/v1/presentations.json?tags=shoes
```

- by create_date

日付範囲 create_date_from and/or create_date_to と日付フォーマット YYYY-MM-DD を使用してプレゼンテーションを検索 例:

```
# Search for presentations created after 2018-01-05: https://orbitvu.co/api/v1/
presentations.json?create_date_from=2018-01-05

# Search for presentations created between 2018-01-01 and 2018-01-05:
https://orbitvu.co/api/v1/presentations.json?create_date_from=2018-01-01&
create_date_to=2018-01-05
```

- ilike

特定のフィールド内の特定のパターンを含むプレゼンテーションを検索する: search_sku, search_name, search_uid, search_tags:

```
# match all presentations with sku containing '123'
https://orbitvu.co/api/v1/presentations?search_sku=123
```

- ilike - 一度に複数のフィールド内を検索

sku, name, uidの一つの中の特定のパターンを含むプレゼンテーションを検索する:

```
# match all presentations with sku, name or uid containing 'A123' or 'a123'
https://orbitvu.co/api/v1/presentations?search=A123
```

並び替え (Ordering)

sku, uid, name による並び替え:

```
# ascending
https://orbitvu.co/api/v1/presentations?ordering=sku
```



```
# descending
```

```
https://orbitvu.co/api/v1/presentations?ordering=-sku
```

改ページ (Pagination)

1 ページあたりのプレゼンテーション数 :

```
https://orbitvu.co/api/v1/presentations/?page_size=5
```

プレゼンテーションの詳細

特定のプレゼンテーションの詳細については：

```
https://orbitvu.co/api/v1/presentations/<id>[.json|.xml]
```

プレゼンテーションの統計

各プレゼンテーションオブジェクトの統計URLが返されます。

```
https://orbitvu.co/api/v1/presentations/<id>/statistics/[.json|.xml]
```

返されるデータ

このエンドポイントは、特定の統計データへのURLのリストを返します。例：

```
{
  "countries": "https://orbitvu.co/api/v1/presentations/46/statistics/countries",
  "cities": "https://orbitvu.co/api/v1/presentations/46/statistics/cities",
  "referers": "https://orbitvu.co/api/v1/presentations/46/statistics/referers",
  "views": "https://orbitvu.co/api/v1/presentations/46/statistics/views"
  "views2": "https://orbitvu.co/api/v1/presentations/46/statistics/views/2/",
}
```

すべての統計URLは、date_rangeパラメータでフィルタリングできます。戻り値は次のとおりです。

- countries

特定の日付範囲（改ページされた）で国別にグループ化されたプレゼンテーションの views（およびshared_views）の数：

```
{
  "count": 1,
  "next": null,
  "previous": null,
  "results": [
    {
      "shared_views": 7,
      "country_name": "Poland",
      "country_code": "PL",
      "views": 245
    }
  ]
}
```

shared_viewsは、現在のプレゼンテーションから作成された共有プレゼンテーションのビューの数です。

プレゼンテーションの共有は、ORBITVU SUNのCUSTOMサブスクリプションプランでのみ利用可能です。詳細はお問い合わせください。

- cities

特定の日付範囲（改ページされた）で国と都市別にグループ化されたプレゼンテーションの views（およびshared_views）の数：

```
{
  "count": 1,
  "next": null,
  "previous": null,
  "results": [{
    "name": "Pila",
    "views": 20,
    "shared_views": 2,
    "country": "Poland",
    "country_code": "PL",
    "country_name": "Poland"
  }]
}
```

- referers

referersで指定した日付範囲（改ページされた）でグループ化されたプレゼンテーションの views（およびshared_views）の数：

```
{
  "count": 1,
  "next": null,
  "previous": null,
  "results": [
    {
      "shared_views": 0,
      "hostname": "http://orbitvu.co/001/YmPwz3333DSsiWD9peD9c6/ov3602/3/view",
      "views": 10
    }
  ]
}
```

リファラーの場合、追加のフィルタリングオプションがあります。date_range_start および date_range_end パラメータを使用して特定の日付範囲を指定することができます。以下の「フィルタリング」セクションの詳細を参照してください。

- views

特定の日付範囲のビュー数です。これは下位互換性のために、より多くの情報を提供する views2 エンドポイントを使用することが推奨されます。返されたデータ：

```
[
  {
    "27-02-2015": 0
  },
  {
    "28-02-2015": 0
  },
]
```

```
{
  "01-03-2015": 0
},
{
  "02-03-2015": 0
},
{
  "03-03-2015": 0
},
...
]
```

- views2

特定の日付範囲のビューの数。views とは異なるフォーマット。例：

```
[
  {
    "date": "27-02-2015",
    "shared_views": 0,
    "total_views": 0,
    "views": 0
  },
  {
    "date": "28-02-2015",
    "shared_views": 0,
    "total_views": 0,
    "views": 0
  },
  {
    "date": "01-03-2015",
    "shared_views": 0,
    "total_views": 0,
    "views": 0
  },
  ...
]
```

返されたデータ：

- views は現在表示されているプレゼンテーションのビューの数です
- shared_views は、現在のプレゼンテーションから共有されたプレゼンテーションのビューの数です
- total_views は、views とshared_viewsのビュー数の合計です。

フィルタリング

フィルタリングは、`date_range`パラメータと`date_range_start`、`date_range_end`（リファラーエンドポイントのみ）で行うことができます

可能な値と形式：：

- `date_range` 値: `last_year`, `last_month`, `last_week`, `years`, `this_month`, `this_year`, `range`
- `date_range` デフォルト値: `last_month`
- `date_range_start` & `date_range_end` 形式: `YYYY-mm-dd`

i `range`の値はリファラー統計にのみ有効で、追加のクエリ文字列パラメータ（`date_range_start` および `date_range_end`）が指定されている場合にのみ機能します。

i `years`の値は、`views` と `views2` のエンドポイントでのみ有効です。他の統計については、データは最大1年間保持されます！

返された値は、選択した日付範囲のビューの累積数を定義する辞書のリストです。 `last_week`の場合は次のようになります：

URL: https://orbitvu.co/api/v1/presentations/1233/statistics/views.json?date_range=last_week

⚠ 上記のURLは説明のために使用されているダミーで、実際にアクセスしても動作しません。

結果：

```
[
  {
    "13-09-2014": 130
  },
  {
    "14-09-2014": 332
  },
  {
    "15-09-2014": 265
  },
  {
    "16-09-2014": 198
  }
]
```

```
},
{
  "17-09-2014": 390
},
{
  "18-09-2014": 323
},
{
  "19-09-2014": 302
}
]
```

range 付きの referers :

URL: https://orbitvu.co/api/v1/presentations/1234/statistics/referers.json?date_range=range&date_range_start=2015-03-01&date_range_end=2015-04-01

結果:

```
{
  "count": 1,
  "next": null,
  "previous": null,
  "results": [
    {
      "shared_views": 7,
      "hostname": "http://orbitvu.co/001/YmPwzTdd3DSsiWD9peD9c6/ov3602/3/view",
      "views": 0
    }
  ]
}
```

アカウントの詳細

現在のユーザーアカウントの詳細を返します。

URL: <https://orbitvu.co/api/v1/account/> [.json | .xml]

結果の例：

```
{  
  "id": 25,  
  "name": "some name",  
  "email": "example@orbitvu.com"  
}
```


コンタクト

- ❗ このAPIエンドポイントは、コンタクトが定義されているアカウントでのみ使用できます。コンタクトは、現在のアカウントとプレゼンテーションを共有している他のアカウントです。このオプションは、一部のCUSTOMサブスクリプションプランでのみご利用いただけます。詳細はお問い合わせください。

コンタクトリスト

Contacts APIは、統計ビューへのリンクを含む各コンタクトについての詳細を返します：

URL: <https://orbitvu.co/api/v1/contacts> [.json|.xml]

返される値：

```
[
  {
    "id": 1,
    "name": "ORBITVU",
    "email": "example@orbitvu.pl",
    "url": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/",
    "statistics_url": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/statistics",
    "shares_url": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/shares"
  },
  {
    "id": 2,
    "name": "ORBITVU 2",
    "email": "example+2@orbitvu.com",
    "url": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/2/",
    "statistics_url": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/2/statistics",
    "shares_url": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/2/shares"
  }
]
```

検索 (Searching) :

- exact

特定のフィールドとの完全一致によるコンタクトの検索: id, name, email, 例：

```
# match contact with id == 1
https://orbitvu.co/api/v1/contacts.json?id=1
```

```
# match contact with email example@orbitvu.com
https://orbitvu.co/api/v1/contacts.json?email=example@orbitvu.com
```

- ilike - single

名前 (name)、電子メール (email) のいずれかで特定のパターンを含むコンタクトを検索：

```
# match all contacts with name or email containing 'A123' or 'a123'
https://orbitvu.co/api/v1/contacts/?search=A123
```

並び替え (Ordering)：

id, name で並び替え：

```
# ascending
https://orbitvu.co/api/v1/contacts/?ordering=id

# descending
https://orbitvu.co/api/v1/contacts/?ordering=-id
```

コンタクトの詳細

特定のコンタクトの詳細は以下を参照：

URL: [https://orbitvu.co/api/v1/contacts/<id>/ \[json | .xml\]](https://orbitvu.co/api/v1/contacts/<id>/[.json|.xml])

返されるデータの例：

```
{
  "id": 1,
  "name": "ORBITVU",
  "email": "example@orbitvu.com",
  "url": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/",
  "statistics_url": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/statistics",
  "shares_url": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/shares"
}
```

コンタクトの統計

コンタクトの詳細ごとに統計URLが返されます。

URL: [https://orbitvu.co/api/contacts/<id>/statistics \[json | .xml\]](https://orbitvu.co/api/contacts/<id>/statistics [json | .xml])

特定の統計データへのURLのリストを返します：

```
{
  "views": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/statistics/views"
}
```

⚠ 上記のURLは説明のために使用されているダミーで、実際にアクセスしても動作しません。

Views statistics

指定された時間範囲でこのアカウントと共有されているプレゼンテーションビューの数を返します。

URL: <https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/statistics/views>

URLは日付範囲（last_year、last_month、last_week、years、this_month、this_year）でフィルタリングできます。デフォルトはlast_monthです：

```
https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/statistics/views?date_range=last_year
```

⚠ 上記のURLは説明のために使用されているダミーで、実際にアクセスしても動作しません

返される値の例 (date_range=this_year):

```
[
  {
    "date": "01-2015",
    "views": 0.0
  },
  {
    "date": "02-2015",
    "views": 23.0
  }
]
```

フィルタリング

フィルタリングは date_range パラメータで行うことができます。


使用できる値: last_year, last_month, last_week, years, this_month, this_year

デフォルト値: last_month

返される値は、選択した日付範囲のビューの累積数を定義する辞書のリストです。

例：last_week の場合は：

URL: https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/statistics/views/.json?date_range=last_week

 上記のURLは説明のために使用されているダミーで、実際にアクセスしても動作しません。

結果:

```
[
  {
    "13-09-2014": 130
  },
  {
    "14-09-2014": 332
  },
  {
    "15-09-2014": 265
  },
  {
    "16-09-2014": 198
  },
  {
    "17-09-2014": 390
  },
  {
    "18-09-2014": 323
  },
  {
    "19-09-2014": 302
  }
]
```

コンタクト共有フォルダー (コンタクトと共有されるフォルダー)

コンタクトと共有されるフォルダーのリスト

URL: [https://orbitvu.co/api/v1/contacts/<id>/shares \[.json|.xml\]](https://orbitvu.co/api/v1/contacts/<id>/shares [.json|.xml])

ページングされた共有プレゼンテーションのデータのリストを返します:

```
[
  {
    "id": 1,
    "name": "Shared folder 1",
    "url": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/shares/1",
```

```
    "presentations_url": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/shares/1/
presentations"
  },
  {
    "id": 2,
    "name": "Shared folder 2",
    "url": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/shares/2",
    "presentations_url": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/shares/2/
presentations"
  }
]
```

⚠ 上記のURLは説明のために使用されているダミーで、実際にアクセスしても動作しません。

共有プレゼンテーション (共有されたプレゼンテーション)

特定の共有フォルダーによって、コンタクトと共有されるプレゼンテーションのリスト

URL: <https://orbitvu.co/api/v1/contacts/<id>/shares/<shareid>/presentations> [.json | .xml]

ページングされた共有プレゼンテーションのデータのリストを返します：

```
{
  "count": 1,
  "next": null,
  "previous": null,
  "per_page": 50,
  "results": [
    {
      "id": 5,
      "uid": "hnBuyqJMJEcTaTcivCVwdD",
      "ovus_number": "047",
      "contents_url": "https://orbitvu.co/api/v1/contacts/1/shares/1/
presentations/5/contents",
      "statistics_url": "https://orbitvu.co/api/v1/shared/presentations/5/
statistics"
    }
  ]
}
```

⚠ 上記のURLは説明のために使用されているダミーで、実際にアクセスしても動作しません。

返される参照データ

- count - 結果の数
- next, previous - 次/前のデータセットのURL
- per_page - ページあたりの結果の数
- results - 共有プレゼンテーションデータのリスト
 - id - 共有プレゼンテーションの一意のID
 - uid - プレゼンテーションのID
 - ovus_number - *ovus_folder* パラメータで使用される番号
 - contents_url - プレゼンテーションコンテンツオブジェクト(2D画像, 360°プレゼンテーション, ORBITTOUR)へのリンク
 - statistics_url - 共有プレゼンテーションの詳細な統計情報へのリンク

共有プレゼンテーションコンテンツ

特定のプレゼンテーションのコンテンツオブジェクトのリストを返します。

URL: <https://orbitvu.co/api/v1/contacts/<id>/shares/<shareid>/presentations/<presentationid>/contents> [.json | .xml]

出力例：

```
[
  {
    "id": 1,
    "name": "ov3601",
    "type": 1,
    "type_display": "ORBITVU 360",
    "ovus_folder": "https://orbitvu.co/047/hnBu2rJMJEcTaTcivCVwdD/ov3601/",
    "thumbnail_url": "//orbitvu.co/001/hnBu2rJMJEcTaTcivCVwdD/iproc/1/img01.png",
    "script_url": "//orbitvu.co/001/hnBu2rJMJEcTaTcivCVwdD/ov3602/3/script",
    "view_url": "//orbitvu.co/001/hnBu2rJMJEcTaTcivCVwdD/ov3602/3/view",
    "max_width": 5448,
    "max_height": 3589,
    "content2_xml": true
  },
  {
    "id": 2,
    "name": "img01.jpg",
    "type": 0,
    "type_display": "image",
```

```
"ovus_folder": "",
"thumbnail_url": "://orbitvu.co/001/hnBu2rJMJEcTaTcivCVwdD/iproc/1/img01.png",
"script_url": "",
"view_url": "://orbitvu.co/001/hnBu2rJMJEcTaTcivCVwdD/iproc/1/img01.png",
"max_width": 0,
"max_height": 0,
"content2_xml": ""
}
]
```

共有プレゼンテーションの統計

特定の統計データのURLのリストを返します。

URL: <https://orbitvu.co/api/shared/presentations/<presentationid>/statistics> [.json | .xml]

返されるURLは、以下の統計データのURL: countries, cities, referers, views

出力例:

```
{
  "countries": "https://orbitvu.co/api/v1/shared/presentations/5127/statistics/countries",
  "referers": "https://orbitvu.co/api/v1/shared/presentations/5127/statistics/referers",
  "cities": "https://orbitvu.co/api/v1/shared/presentations/5127/statistics/cities",
  "views": "https://orbitvu.co/api/v1/shared/presentations/5127/statistics/views"
}
```

Countries

日付範囲 (last_week, last_month, years) でフィルターされます。例:

```
https://orbitvu.co/api/v1/shared/presentations/5127/statistics/countries?date_range=last_week
```

Referers

先月の結果が返されます:

```
https://orbitvu.co/api/v1/shared/presentations/5127/statistics/referers
```

Cities


日付範囲 (last_week, last_month, years) でフィルターされます。例:

```
https://orbitvu.co/api/v1/shared/presentations/5127/statistics/  
cities?date_range=last_week
```

Views

日付範囲（last_week, last_month, years, this_month, this_year）でフィルターされます。例：

```
https://orbitvu.co/api/v1/shared/presentations/5127/statistics/  
views?date_range=last_week
```

 上記のURLは説明のために使用されているダミーで、実際にアクセスしても動作しません。

パブリッシャー

- ❗ このAPIエンドポイントは、コンタクトが定義されているアカウントでのみ使用できます。パブリッシャーは、現在のアカウントとプレゼンテーションを共有している他のアカウントです。このオプションは、一部のCUSTOMサブスクリプションプランでのみご利用いただけます。詳細はお問い合わせください。

パブリッシャー リスト

Publishers APIは、各パブリッシャーの詳細を返します：

URL: <https://orbitvu.co/api/v1/publishers> [.json | .xml]

返される値

```
[
  {
    "id": 1,
    "name": "ORBITVU",
    "email": "example@orbitvu.pl",
    "url": "https://orbitvu.co/api/v1/publishers/1/",
    "shares_url": "https://orbitvu.co/api/v1/publishers/1/shares"
  },
  {
    "id": 2,
    "name": "ORBITVU 2",
    "email": "example+2@orbitvu.com",
    "url": "https://orbitvu.co/api/v1/publishers/2/",
    "shares_url": "https://orbitvu.co/api/v1/publishers/2/shares"
  }
]
```

検索 (Searching)

- exact

特定のフィールドとの完全一致によるパブリッシャーの検索: id, name, email, 例：

- # match publisher with id == 1
`https://orbitvu.co/api/v1/publishers.json?id=1`
- # match publisher with email example@orbitvu.com
`https://orbitvu.co/api/v1/publishers.json?email=example@orbitvu.com`

- ilike - single

名前 (name)、電子メール (email) のいずれかで特定のパターンを含むパブリッシャーを検索：

```
# match all publishers with name or email containing 'A123' or 'a123'  
https://orbitvu.co/api/v1/publishers/?search=A123
```

並び替え (Ordering)

id, name で並び替え：

ascending

https://orbitvu.co/api/v1/publishers/?ordering=id

descending

https://orbitvu.co/api/v1/publishers/?ordering=-id

パブリッシャーの詳細

特定のパブリッシャーの詳細は以下を参照：

URL: <https://orbitvu.co/api/v1/publishers/<id>/> [,.json|.xml]

返されるデータの例：

```
{  
  "id": 1,  
  "name": "ORBITVU",  
  "email": "example@orbitvu.com",  
  "url": "https://orbitvu.co/api/v1/publishers/1/",  
  "shares_url": "https://orbitvu.co/api/v1/publishers/1/shares/"  
}
```

shares_url はコンタクトに対して定義された shares_url に似ています。詳細は [コチラ](#)こちらを参照ください。